

この添付文書は、本剤の使用前に必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

オキシゾール[®] L100

第1類医薬品 腔カンジダ再発治療薬 腔用外用薬

腔カンジダは、カンジダ菌という真菌(カビの仲間)によって起こる腔炎です。腔カンジダにかかると外陰部のかゆみと、おりもの見た目や量に変化が起こり、ときに外陰部の熱感、痛み、腫脹感を伴います。おりものの性状は、腔カンジダ特有のおかゆ(カッテージチーズ)状、白く濁った酒かす状です。本剤は腔カンジダの症状を改善する治療薬です。

本剤の使用は、以前に医師から腔カンジダの診断・治療を受けたことのある人に限ります。

△ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください。

- (1) 以前に医師から、腔カンジダの診断・治療を受けたことがない人。
- (2) 腔カンジダの再発までの期間が2ヵ月以内の人、又は2ヵ月以上であっても、直近6ヵ月以内に2回以上感染した人。
- (3) 腔カンジダの再発かどうかよくわからない人[おりものが、おかゆ(カッテージチーズ)状、白く濁った酒かす状ではない、いやなおいがあるなどの場合、他の疾患の可能性が考えられます]。
- (4) 発熱、悪寒がある人。
- (5) 吐き気、嘔吐がある人。
- (6) 下腹部に痛みがある人。
- (7) 背中や肩に痛みがある人。

- (8) 不規則な出血又は異常な出血、血の混じったおりものがある人。
- (9) 腔又は外陰部に潰瘍、水膨れ又は痛みがある人。
- (10) 排尿痛がある人又は排尿困難な人。
- (11) 次の診断を受けた人。糖尿病
- (12) ワルファリン等の抗凝血薬を使用している人。
- (13) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (14) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (15) 15才未満の小児又は60才以上の高齢者。

2. 本剤を使用中は、次の医薬品を外陰部に使用しないでください。
カンジダ治療薬以外の外用薬



相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 授乳中の人。
- (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

関係部位	症 状
腔	疼痛(すきすきする痛み)、腫脹感(はれた感じ)、発赤、しげき感、かゆみ、熱感

3. 3日間使用しても症状の改善がみられないか、6日間使用しても症状が消失しない場合は使用を中止し、医師の診療を受けてください。

効 能 腔カンジダの再発(以前に医師から、腔カンジダの診断・治療を受けたことのある人に限ります。)

用法・用量 成人(15才以上60才未満)1日1回1錠を腔深部に挿入してください(就寝前が望ましい)。6日間連続して使用してください。ただし、3日間使用しても症状の改善がみられないか、6日間使用しても症状が消失しない場合には医師の診療を受けてください。

年 齢	1回量	使用回数
成人(15才以上60才未満)	1錠	1日1回
15才未満又は60才以上	使用しないこと	

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) この薬は腔内にのみ使用し、飲まないでください。もし、誤って飲んでしまった場合は、すぐに医師の診療を受けてください。
- (3) 途中で症状が消失しても、使用開始から6日間使用してください。
- (4) 生理中は使用しないでください。使用中に生理になった場合は使用を中止してください。その場合は治癒等の確認が必要であることから、医師の診療を受けてください。(生理中は薬剤の効果十分得られない場合があります。)

成分(1錠中) オキシコナゾール硝酸塩……………100mg
(添加物:乳糖水和物、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、クエン酸水和物、ステアリン酸マグネシウム)

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。



製造販売元
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区北浜2-6-18

ホームページ www.mt-pharma.co.jp

本品のお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いいたします。
田辺三菱製薬株式会社「くすり相談センター」
(フリーダイヤル ☎0120-54-7080)
受付時間: 弊社営業日の9:00~17:30

副作用被害救済制度の問合せ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)



我慢できないかゆみ・不快なおりに効く

オキナゾール[®]L100

オキナゾールL100は、抗真菌成分オキシコナゾール硝酸塩を主成分とする、腔カンジダの再発治療薬です。

オキナゾールL100の特長

*カンジダ菌を殺菌

当社開発の抗真菌成分オキシコナゾール硝酸塩がカンジダ菌の細胞膜を破壊し、優れた殺菌作用を示します。

*難治性菌にも効く

治療に抵抗性を示すことが多い菌である、カンジダ・グラブタにも効果を発揮します。

*外陰部の症状も改善

おりものの異常など腔の症状だけでなく、外陰部の症状(かゆみ、赤み、腫れ)も改善します。

*脱落しにくい腔錠

腔中の水分を吸収することで速やかに溶けて広がるため、腔錠が腔外へ脱落しにくくなっています。

*本剤は腔内に留まって効果を発揮した後、徐々に体外に排泄されるため、白いかたまりやペースト状のものが出てくる場合があります。

生活上の注意

- (1) 腔カンジダを再発した場合には、パートナーに感染している可能性があるため、腔カンジダに感染した旨を伝え、パートナーの方は陰部のかゆみ、発赤等の不快症状があれば、すぐに医師の診療を受けましょう。
- (2) パートナーへの感染を避けるため、本剤を使用中は性行為を避けましょう。
- (3) 本剤を使用中は、患部への刺激を避けるため、殺精子剤は使用しないでください。
- (4) 薬剤の効果を維持するため、自分で腔内を洗うことは避けましょう。
- (5) 入浴時は石けんの刺激を避けるために、外陰部は石けんで洗わず、お湯だけで軽く洗う程度にしましょう。
- (6) カンジダ菌は、温度や湿度の高い状態で繁殖しやすいため、

できるだけ乾燥した状態を保つようにすることが大切です。以下の点に気をつけましょう。

- ・入浴、水泳等の後は、腔の外側は十分乾かしましょう。濡れた水着などはできるだけ早く着替えましょう。
 - ・おりものシートなどの衛生用品を使用する場合は、こまめに交換しましょう。
 - ・下着は、通気性のよい綿製品などを用いましょう。
- (7) 下着やタオルは毎日清潔なものを用い、タオルなどは感染を避けるため、家族と共用しないでください。
 - (8) カンジダ菌は腸にも常在している菌です。トイレの後は腸からの感染を避けるため、前から後ろにふきましょう。
 - (9) かゆみがあっても、外陰部をかかないようにしましょう。かくと、刺激がひどくなったり、感染が広がる可能性があります。

腔錠の使い方

取り出し方

右図のように腔錠の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、1錠取り出してください。(誤ってシートごと使用すると、粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



挿入法

手指を石けんできれいに洗い、両脚を広げてしゃがみ、右図のように腔錠を指先で腔内の最も深い所に挿入してください。(アプリケーター等は使用しないでください。)挿入後、患部に接触した手指は石けんでよく洗ってください。腔錠を入れる向きに決まりはありませんが、細い方から挿入すると入れやすいので推奨します。

